

全国美術館会議 会員館職員のみなさま

社会人と現役藝大生がともに学ぶ 社会共創科目（公開授業）『現代美術キュレーション概論』 特別受講生募集のご案内

日頃より東京藝術大学の活動にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

東京藝術大学キュレーション教育研究センターは、2023年10月から、学生対象の授業に社会人が参加できる「公開授業」を始めます。初年度である今回、パイロット事業として、全国美術館会議会員館の皆様へ、この授業に無料で参加できる特別受講生の仕組みを作りました。授業料全額免除（受講無料）は今期のみです。授業への参加方法はオンライン、授業終了後1週間はオンデマンド受講が可能です。ぜひこの機会をご利用いただきたく、ご案内申し上げます。

授業を公開・減免対象とする目的：

ミュージアムを取り巻く社会的環境の変化は激しく、社会からの要請は日々大きく広がっています。一方、日々の業務は重く、十分な人的資源も経済的資源も整わないのが現実です。グローバル化、ジェンダー対応、アーカイブの構築、地域との連携、SDGs、次々と現れる社会の問題に答えたいと思っても、学ぶ時間を取ることは難しく、ミュージアム勤務者にとっての適切な教材探しも簡単ではないように思います。

この講座では、現場でキュレーションを巡る仕事を長く経験してきた者たちが講師を務めます。すぐに答えを用意することはできませんが、学生たちに向けて話しかけるとともに、ミュージアムにおいて様々な立場で仕事をしている方々に、何かのヒントや参照できる資料を提供できればと考えています。

本学は美術と音楽の分野を主とする芸術大学なので、この授業は主に「アート」の領域での実践を例に行われます。「アート」ミュージアム/キュレーションの参考例と考えていただき、参照・活用していただければ幸いです。

『現代美術キュレーション概論』全国美術館会議 会員館職員への特別受講生募集 概要

【開講日時】10/5(木)～1/25(木)の期間の木曜日に13回開催、各回18:00～19:30開講(詳細は裏面をご覧ください)

【特別受講生定員】50名(先着順)

【受講方法・料金】全13回のオンライン授業を、授業料免除(無料)で受講できます(ZOOMでのリアルタイム視聴を基本とする) ※1

【特別受講生募集対象者】全国美術館会議会員館の職員(学芸員・事務系職員・非正規雇用の職員を含む全ての職員) ※2

【特別受講生募集期間】8/21(月)～9/14(木) ※3

【修了証発行について】全13回のうち、10回以上出席した受講生には修了証を発行します。 ※4

【お申し込み】下記URL/QRコードから専用Googleフォームでご登録ください。



<https://forms.gle/WiCgUq6A5r3Grvhe9>

※当センターHPに掲載されているURLからお申し込みされますと、特別枠での受講にはなりませんのでご注意ください。(必ずこの専用URL経由でお申し込みください。)

- ※1：やむを得ず欠席の場合、1週間程度の期間限定でのオンデマンド配信を検討中です。なお、藝大在学の履修学生は対面、一般の社会人受講生はオンライン受講、となっています
- ※2：昨今のミュージアムにおける非正規雇用職員の広がり、学芸員等研究職と事務職とで協力してのプログラム運営の広がり鑑み、職員の職種は問いません。会員館の今年度実施のプログラムにスタッフとして参加し謝金を受け取ったり、今年度の期間限定の講師などを務めた方も申込できます（申込フォームにどういう立場で何を務めたかご記入ください）
- ※3：先着順のため、定員に達した場合は、募集期間終了日より前に締め切ることがあります。募集期間終了後の中途申込はできません。来年度以降は受講料の完全免除ではなく一部減免となる予定です。一般社会人枠の募集期間は7/21(金)～9/21(木)で、今回の特別受講生募集より早くスタートしておりますため、すでに一般社会人枠(受講料5万円)で受講料振込をしている場合は事務局にご連絡ください
- ※4：授業後のコメントシート提出により出席を確認します。期間限定オンデマンド配信の場合もコメントシート提出により出席確認とします

【「現代美術キュレーション概論」授業概要】



本授業では、美術館での展覧会から、街なかでのアートプロジェクトに至るまで、さまざまな形でアートと社会をつなぐキュレーションの実践について、実際にそれぞれの現場で活躍している講師陣を迎えて授業を構成します。

← 詳細はこちら (<https://ccs.geidai.ac.jp/learn-with-us/>)

【2023年度担当教員ラインナップと予定される授業内容】 ※なお、授業の内容や順序は変更になる可能性があります。

- | | |
|---|---|
| 第1回 10/5(木)
担当教員：難波祐子(キュレーション教育研究センター 特任准教授)
「イントロダクション：現代美術キュレーションの見取り図ー美術館、国際展、芸術祭、アートプロジェクト」 | 第7回 11/16(木)
担当教員：今村有策(大学院美術研究科 教授)
「グローバル時代のキュレーション：世界の現場から 1」 |
| 第2回 10/12(木)
担当教員：李美那(大学院美術研究科 准教授)
「美術館のキュレーション：日本における、美術館とミュージアム・キュレーター（学芸員）の関係」 | 第8回 11/30(木)
担当教員：毛利嘉孝(国際芸術創造研究科 教授)
「ポスト/ウィズコロナのアートとキュレーション」 |
| 第3回 10/19(木)
担当教員：李美那(大学院美術研究科 准教授)
「美術館のキュレーション：美術館とミュージアム・キュレーターの未来／求められる変化」 | 第9回 12/7(木)
担当教員：荒木夏実(美術学部 准教授)
「ジェンダーとキュレーション：見過ごされてきたモノ・コトに注目する」 |
| 第4回 10/26(木)
担当教員：熊澤弘(大学美術館 准教授)
「美術館のキュレーション：現代美術作品の所蔵品管理をめぐって」 | 第10回 12/14(木)
担当教員：平諭一郎(未来創造継承センター 准教授)
「アーカイヴとキュレーション：作品と資料とその再演」 |
| 第5回 11/2(木)
担当教員：服部浩之(大学院映像研究科 准教授)
「協働プロジェクトのキュレーション：異分野を架橋する表現と創造について」 | 第11回 1/11(木)
担当教員：相馬千秋(大学院美術研究科 准教授)
「領域横断するキュレーション：「パフォーマンス」を生成するキュレーション実践」 |
| 第6回 11/9(木)
担当教員：熊倉純子(国際芸術創造研究科 教授)
「アートプロジェクトのキュレーション：日本のアートプロジェクトの変遷とその担い手について」 | 第12回 1/18(木)
担当教員：今村有策
「グローバル時代のキュレーション：世界の現場から 2」 |
| | 第13回 1/25(木)
担当教員：難波祐子+栗栖良依（東京パラリンピック開閉会式ステージアドバイザー）
「社会包摂とキュレーション：多様性を活かす仕組みとデザイン」 |

【お問い合わせ】

東京藝術大学 キュレーション教育研究センター

* この募集に関する質問は、全国美術館会議ではなく当センターへ直接お尋ねください *

CONTACT フォームはこちら↓

<https://ccs.geidai.ac.jp/>

